

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2023年1月号②号

こん京都にしたいなあー宣伝

22日11時～北野白梅町で、こんな京都にしたいな@北区の会の宣伝とアピールパレードがありました。「大軍拡・大増税反対！暮らしを守れ！」「北陸新幹線延伸計画は環境破壊。絶対ストップを」「一万人アリーナ建設等北山エリア計画はとんでもない！」「京都市行財政改革は撤回を！」「民間保育園補助金カットはやめよ！」「敬老乗車証の負担は元に戻せ」等など、切実な現場の実態を紹介しながら、発言されました。パレードでは保育士さんがアコーデオンを持って、となりのトロのさんぽを演奏して参加され、子ども達も鈴を鳴らしながらのパレードで楽しいパレードでした。

私はパーランクでリズムを取りながら参加しました。



手作り横断幕を持って参加してくれた方々の横断幕が素敵でした。左から玉本市議、井坂市議、浜田府議

子どもの医療費助成が拡充の実現！

長年の粘り強い運動の成果です。子ども医療費助成拡充は、国の制度が不十分なので、各自治体が独自に子育て支援策として、助成をしています。

すでに、中学校や高校卒業まで無料にしている自治体もあります。

京都市は、京都府の助成に合わせて、やっと、小学校卒業まで通院が一医療機関200円の負担になります。署名運動や議会への請願など、ほんとに長く運動を続けられて来ました。日本共産党市会議員団の重要政策の一つです。引き続き、18歳までの助成拡充に向けて頑張ります！

1 拡充案（子ども医療費の自己負担額の上限）

	就学前		小学生	中学生
	0～2歳	3～6歳		
入院	1医療機関 200円/月			
通院	1医療機関 200円/月	1,500円/月 ↓【拡充】 1医療機関 200円/月（※1）		1,500円/月（※2）

※1 拡充に伴い、医療費の払戻しに係る手続きが不要になります。

※2 複数の医療機関等を受診し、自己負担額の合計が月1,500円を超えた場合には、超えた額を申請により払い戻します。

2 実施予定時期 令和5年秋から

つばやき：行政を動かす 固定費支援が対象に

中小企業等の支援として、家賃や光熱水費を対象とするように、長年に渡って、質疑してきましたが、まったくやる気のない答弁でした。それが、昨年秋の「中小企業等総合支援補助金」は対象となりました。ただ、収支30%以上の減収が上限でした。それも、条件を外すべきだと提案する中、現在申請受付中の「中小企業等物価高騰対策支援金」は、減収要件が外されました。支援額が個人が3万円、法人5万円と少ないけれど、少しでも助かるとの声があります。もっともっと中小企業を応援するよう提案していきます。



しわ寄せが患者さんと医療機関に及びます。医療機関の体制強化なく、緩和するのは問題です。

救急車を駆けつけても、搬送する病院が見つからず、何時間も探し続け、結局見つからず、家で様子をみることになるケースもあります。患者さんも家族も救急隊も、受け入れを断るしかない医療機関もみんな辛いと思います。

感染区分を2類から、5類になると、しわ寄せが患者さんと医療機関に及びます。医療機関の体制強化なく、緩和するのは問題です。

救える命が救えないという事態が起こっているということです。

救える命が救えないという事態が起こっているということです。

3年感染を繰り返す中で、多くの方の命が奪われました。経済の停滞を何とかしないといけないという声もある中で、大事なことを見落としていないかと言わざるを得ません。

コロナウイルス感染症が広がりに出、4年目に突入しました。なんと、未知のウイルスは変異株が次々と出現し、第8波まで感染の山が繰り返されています。が、治ることを知りません。

コロナウイルス感染対策

アンテナ

